

選択 B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

	優れた点	更なる向上が期待される点	改善を要する点
平成17	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 毎年多くの高等専門学校生が参加するオープンハウスは、参加者の満足度も非常に高く、受験者の確保にも十分に寄与しており、高等専門学校からの編入学を大規模に実施している大学として、極めて大きな意義を持つ教育サービスといえる。(長岡) ◎ 教育サービスの提供について、7つの方針をたて、小学生、中学生、高校生、高専生、地域住民、企業の技術者及び研究者などを対象とする活動が、活発にかつ高い評価を得て実行されている。(長岡) 		
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 大分県における看護、看護学の拠点施設として、平成16年4月に大分県立病院に隣接した看護研究交流センターを設置しており、地域交流・国際協力・国際交流・継続教育を企画・実施している。(大分県立看護) 		
平成18	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 大学における高校生対象の化学や生物学の実習、高等学校への出前講義の実施や「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業」への協力を通じて、医学や看護学の学問分野への関心を高めている。(奈良県立医科) 		
平成19	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 小中学校の教員を対象にした「リフレッシュ理科教室」や産学交流プラザ「創造」の例会での地域技術者育成セミナーなどで社会人を対象にした教育サービスを精力的に行っている。(室蘭工) ◎ 地域社会との連携や地域貢献事業を推進する体制(生涯学習教育研究センター、総合教育研究センター、地域創造支援センター)を整備し、大学キャンパスのみならず福島市街地の大学サテライトや福島県内主要都市において、公開授業、公開講座、教育相談、シンポジウムなど、地域教育サービス事業を活発に展開している。また、福島県教育委員会や福島商工会議所との連携講座を開催するなど、地域との連携による教育サービスを推進している。(福島) ◎ 公開講座での受講者間の出会いが契機となり発足した生涯学習組織である生涯学習友の会として「けやき倶楽部」が、多くの会員の参加を得て設立されている。(千葉) ◎ 平成17年度の文部科学省教員養成G Pに採択されている「広域大学間連携による高度な教員研修の構築－「教育の今日的課題」解決に向けた新研修システムの実現－」では、当該大学を含む7大学が広域コンソーシアムを形成し、現職教員に対する研修が実施されている。(千葉) ◎ 平成19年度の文部科学省社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラムに「訪問看護師として再就職したい看護職者を支援する学び直しプログラム開発」が採択されている。(千葉) ◎ 正規課程の学生以外に対して、科目等履修生・聴講生制度、市民開放授業、出前講座、放送公開講座、附属図書館の開放、長野県内大学単位互換制度、長野市内大学・短大・高専単位互換夜間カレッジ、大学専用テレビチャンネル「信州大学テレビ」など、極めて多様なサービスを行っている。(信州) ◎ 理学部における「自然環境診断マイスター養成」プログラムが、平成19年度文部科学省社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラムに採択されている。(信州) ◎ 非常に多くの公開講座、研究会、セミナー、出前講義及び体験講座等を開催し、十分に多くの参加者を確保している。例えば、平成18年度には約80施設で出前講義を行い、約5,000人の高校生が受講している。(岐阜) ◎ 平成16年度に文部科学省現代G Pに採択された「地域協学型の風土保全教育プログラムーぎふ公民館大学ー」では、「ぎふ公民館大学」により、地域に貢献している。(岐阜) 		
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 刈谷市中央図書館との共同催事で「環境についての教科書と絵本展ードイツを中心にー」を継続して実施している。(愛知教育) ◎ 科学技術、理科・数学(算数)教育の充実を図るため、文部科学省が推進する「科学技術・理科大好きプラン」の一環である「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」の取組を実施している。(愛知教育) ◎ 「高・大連携アカデミック・クエスト講座」を開設しており、大学の教員による特別授業を実施し、一定の履修条件を満たした生徒には正式な授業として高等学校での単位を認定している。(愛知教育) ◎ 児童生徒の「理科、算数・数学離れ」、「ものづくり拒否」の問題の解決に向けた取組は、平成17年度に「科学教育出前授業等による学生自立支援事業」として文部科学省特色G Pに採択され、「ものづくり教育」をはじめ多様な形態で実施されており、その取組の一つである「訪問科学実験」は、放送大学の「大学等開放推進事業」Jr.サイエンス事業」に採用されたほか、平成基礎科学財団の第2回小柴昌俊科学教育賞の優秀賞を授与されている。(愛知教育) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 正規課程の学生以外に対する教育サービスは多様な形態で多角的に実施されており、優れた取組が多いが、一部の取組については参加者の増加が見込める方策の検討が望まれる。(愛知教育) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 大学と教育現場の協働的教師教育プログラム推進のためにリエゾンオフィス(現在は教育実践コラボレーションセンター)を設置して、より組織的な運営体制を整備し、教員の力量形成を支援している。(兵庫教育) ○ 兵庫県教育委員会等と連携して、現職教員向けの研修支援プログラムを開発し、実際の研修において活用されている。(兵庫教育) ○ 平成14年度以来、学校や生涯学習機関等からの要請に応じて当該大学の教員を講師として派遣するスクール・パートナーシップ事業を実施している。(兵庫教育) 		

選択 B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

	優れた点	更なる向上が期待される点	改善を要する点
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「国連 持続可能な開発のための教育の10年」を推進し、各種国際機関、団体等との連携を効果的なものとするため、岡山大学ユネスコチェアが設置されている。(岡山) ◎ 附属図書館所蔵の「池田家文庫資料」を展示し、講演会によって解説すると同時に、デジタル資料化し、岡山市内の様々な教育機関にも公開・提供している。(岡山) ◎ 岡山県内の国公私立15大学で構成する「大学コンソーシアム岡山」は、地域の大学生を対象とした教育サービスを提供する。(岡山) ◎ 文部科学省現代G Pにおいて、平成17年度に「バリアフリーによる双方向スポーツ教育活動」が採択され、一般市民、社会に高度な教育機会を提供している。(岡山) ◎ 文部科学省教員養成G Pにおいて、平成18年度に「大学コンソーシアムによる幼稚園教員の養成」が採択され、岡山県内の国公私立15大学で構成する「大学コンソーシアム岡山」は、地域を対象とした教育サービスを提供している。(岡山) ◎ 文部科学省地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラムにおいて、平成19年度に「女性を生かすキャリア支援計画」が採択されている。(岡山) 		
平成20	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 実践教育センターにおける現任者教育を中心に、地域のニーズに十分にこたえる教育サービスを提供している。(神奈川県立保健福祉) ◎ 地域貢献推進本部を設置して、地域貢献に取り組む責任体制が明確になっている。(大阪市立) ◎ 公開講座、公開授業、科目等履修生等の受入、出張授業等地域に密着した多様な取組を実施し、十分な参加者があり効果を上げている。(大阪市立) ◎ 理学部附属植物園では「植物園観察会」、「花と緑の講座」、「ファミリー草花教室」等を開催し、生涯学習の場として広く一般に公開している。(大阪市立) 	◎ 実践教育センターの活動と学部との連携の在り方については、一層の工夫が期待される。(神奈川県立保健福祉)	
平成21	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 奈良県、奈良市及び大学との間で、生涯学習、人材育成、文化、国際交流等に関する共同事業や支援事業を進めるため、連絡協議会を立ち上げ、要項に基づいて、地域の活性化に資する「奈良-ひと・地域-かがやきプロジェクト」を組織し、毎年度の事業実施計画を策定し、相互の連携の下に実施している。(奈良教育) ◎ 教育、科学、文化の分野におけるグローバルな視野での活動の推進のために、ユネスコが推進する「ユネスコ・スクール」に日本の大学として最初に加盟し、ユネスコが提起する「持続可能な開発のための教育(E S D)」に関する実践研究を進めている。(奈良教育) 		
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 公開授業や公開講座により、地域住民の知的欲求を満たし、特に各界の著名人・文化人・経済人等を毎週招へいする授業科目では、日本における学会での最新の見解や現代社会情勢はもとより世界の最新の情報や現場の知識を得ることができるよう工夫を凝らしている。(群馬県立女子) ◎ 「群馬」について、文化・経済・市民生活など多方面から検証し、その特性を明らかにする「群馬学」の確立に向けた取組を行うことで、地域住民の学習機会の提供の幅を広げている。さらに深く専門分野を学修したい者や研究したい者に対しては、聴講、科目履修等の制度が活用でき、対象者の学習意欲や興味に応じて、幾重にも教育サービスが提供できる体制となっている。(群馬県立女子) ◎ 「英語」という観点からは、「グローバルカフェ」により英語初級者に本物の英語体験の機会を提供し、「スピーチコンテスト」により高校生に実際の授業の幅を上げ、「公開シンポジウム」で英語との関わり方を考える機会を提供、「小学校教員英会話講座」では、学習指導要領を先取りする形で義務教育体制の補完を行うなど、多様な教育サービスの提供を行っている。(群馬県立女子) 		○ 参加者からは、満足している様子がうかがえるものの、人員及び資金不足のため、すべての事業においてアンケートが実施されている状況ではない。今後、これらの教育サービスの内容をさらに充実させるためには、少しでも多くの事業において参加者の様々なニーズを把握するよう努める必要がある。(群馬県立女子)
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 地域における教育サービスを中期目標に位置付け、大学の重要な使命として積極的な取組を行っている。(北九州市立) ◎ 公開講座をはじめ、地域に対するきわめて多くの教育サービス事業を実施し、多数の参加者を確保している。(北九州市立) ◎ 「地域密着型環境教育プログラムの戦略的展開-人間力育成プログラムの深化と学外・国際連携の充実化-」が平成20年度文部科学省教育G Pに選定され、環境教育に関する調査結果を分類・体系化して教材としてのDVDを作成し、市内の中学校・高等学校や環境関連施設等に配布している。(北九州市立) ◎ 社会貢献事業として、N P Oとの連携、一般社会人が学生とともにゼミに参加できるコミュニティ・コースなど、幅広い世代に対応した取組を展開している。(北九州市立) ◎ 北九州市の地域特性を背景に、国際協力や企業への支援等で積極的に社会に貢献している。(北九州市立) 		
平成22	◎ 都民の生涯学習の拠点として「オープンユニバーシティ」という専門の部局を設け、O U講座を実施しており、毎年1,300人程度の新規登録があり、総受講者も平成21年度には3,700人に達している。(首都大学東京)		
	◎ 「看護師の学び直しを支援する地域指向型オープン/バーチャル・カレッジの試み」(平成19年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択)において、ユビキタス環境(バーチャル・カレッジ)を創出し、社会人の学び直しニーズにこたえている。(新潟県立看護)		
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 前期・後期の授業科目を対象に参加者の募集を行い、正規学生と一緒に毎年多数の社会人聴講生が受講している。(静岡文化芸術) ◎ 公開講座・公開工房の活動が活発に行われており、また、メディアアートフェスティバル、レクチャーコンサート等を定期的に開催し、多数の参加者を得ている。(静岡文化芸術) 		

選択 B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

優れた点	更なる向上が期待される点	改善を要する点
<p>◎ 中期計画で教育委員会及び小・中・高等学校との連携を掲げ、高大連携事業、高大連携遠隔授業など、小・中・高等学校の総合的な学習の時間への参画等学習支援を積極的に実施している。(愛知県立芸術)</p> <p>◎ 芸術資料館及び法隆寺金堂壁画模写展示館の活用による展覧会、奏楽堂における演奏会等、大学が有している施設を活用した芸術活動を展開し、地域の芸術文化普及に積極的に貢献している。(愛知県立芸術)</p> <p>◎ 個々の教員が演奏会、展覧会、公開講座、学術講演会、サテライト講座、出張講座・出張授業、講師派遣などの芸術文化の普及活動に頻繁に参加し、参加者の高い満足を得ている。(愛知県立芸術)</p> <p>◎ 平成19年度に芸術創造センターが組織され、「学外交流事業」を統括することとなり、サテライト講座の企画・運営、公開講座の運営、愛知県による文化事業「あいち子ども芸術大学」の開催、その他様々な社会に向けた芸術活動の統括、情報発信に当たっており、大学として組織的・計画的に地域貢献活動に当たっている。(愛知県立芸術)</p>		
<p>◎ 平成20年度に文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」として「医療・保健分野における復帰と能力向上を支援する自己研鑽プログラム」及び「地域一大学連携による地域医療ニーズに対応した薬剤師リカレント学習支援プログラム」が採択され、既卒者を対象にした専門職業人教育の充実に貢献している。(名古屋市長)</p> <p>◎ 平成19年度に厚生労働省の「老人保健健康増進等事業」として「高齢者の健康づくりのための地域ボランティアリーダーの養成に関する調査研究事業」が採択され、平成19～21年度まで「高齢者健康づくり指導者養成セミナー」を実施した。(名古屋市長)</p>		
<p>◎ 「近江環人地域再生学座」の社会人対象のBコースにおいて、「コミュニティ・アーキテクト(近江環人)」の称号を付与された者が17人あり、称号を得た修了生は、「環人会」と称するネットワークを結成して相互の研修を継続しており、大学はその活動を支援している。(滋賀県立)</p> <p>◎ 琵琶湖塾は、毎年多くの参加者を得ており、受講者も比較的若い世代が多く、満足度も高い。(滋賀県立)</p>		
<p>◎ 九州工業大学、産業医科大学、北九州市立大学、当該大学による4大学スクラム講座を開催し、多くの市民が参加している。(九州歯科)</p> <p>◎ ネパール、チェンジャに対する歯科医療活動や歯科医療従事者に対する教育活動を長期に亘り実施し、現地の歯科医療水準の向上に努めている。(九州歯科)</p> <p>◎ 公開講座、地域住民への健康増進啓発、リカレント教育等の多様な活動が実施されている。(九州歯科)</p>		
<p>◎ 附属研究所に所属する生涯福祉研究センター、ヘルスプロモーション実践研究センター、不登校・ひきこもりサポートセンター及び社会貢献・ボランティア支援センターが中心となり、「I 地域住民の健康の向上及び福祉、教育等の相談・支援」、及び「II 資格・免許保持者等へのリカレント教育や研修」という中期計画・社会貢献分野の二大項目に沿って、筑豊・田川地区を主対象とする広範にして数十種類に及ぶ多様な活動を着実に実施し、いずれも各年度当初の数値目標の実績を上回る実績を上げている。(福岡県立)</p> <p>◎ 不登校・ひきこもりサポートセンターを中心とする取組「不登校・ひきこもりへの援助力養成教育」活動が、平成20年度文部科学省の教育G Pに選定されている。この取組では、学生サポーターが、地域の小・中・高等学校、特別支援学校や適応指導教室等に出向くとともに、同センターのキャンパススクールに地域の子どもたちを招く援助教育に参加している。(福岡県立)</p> <p>◎ 「世界遺産をめざす旧産炭地・田川の再生事業～産・官・民・学が協働する保養滞在型エコツーリズムの実現～」が内閣府の「地方の元気再生事業」として選定され、産業観光や生活習慣病の克服と既存の名勝観光を結合した二つの商品を開発し、また、総合的なマネジメント力を発揮できる質の高い人材育成を図る社会貢献・ボランティア支援センターを学内に設立して多数の学生や外郭団体を登録するなど、充実した成果を上げている。(福岡県立)</p> <p>◎ 平成21年度文部科学省「大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム」の「看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖繩構想」の実施においては、九州・沖繩地区の看護系大学13校の指導的役割を果たすとともに、福岡県、福岡市、久留米市、田川市、古賀市、沖繩県名護市、福岡県看護eラーニング研究会及び九州看護理論研究会と提携・協力し、看護教育における地域社会の連携の新たな在り方を創出し、地域貢献の新生面を開拓している。(福岡県立)</p>		
<p>◎ 高等学校への出張講義が毎年20件程度実施され、500人以上の高校生に対して講義を行っており、受講者からのアンケート結果も非常に好評である。(福岡女子)</p> <p>◎ 公開講座・自由企画講座については、全教員の約3分の1が講師を務めるなど、人的資源が有効に活用されている。(福岡女子)</p> <p>◎ しょくぼねっと(食育ボランティア学生ネットワーク)や、エコボランティア(福岡女子大学E C V O(えくぼ))等のボランティア活動が活発に実施されている。(福岡女子)</p>		
<p>◎ 多くのニーズを考慮して、看護国際フォーラム、公開講座等、きめ細かい支援活動を実施している。(大分県立看護)</p> <p>◎ ウズベキスタンにおける看護教育改善プロジェクトに関して、看護教育カリキュラムの専門学校への導入や研修員の受入等、長期にわたり活動を実施している。(大分県立看護)</p>	<p>◎ 訪問看護認定看護師教育課程の開設は優れた取組であるが、定員の確保に向けた努力が期待される。(大分県立看護)</p> <p>◎ 卒業生への継続教育は優れた取組であるが、参加者の増加に努めることが期待される。(大分県立看護)</p>	

選択 B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

	優れた点	更なる向上が期待される点	改善を要する点
	<p>○ 公開講演会について、全国50か所に配置している学習センターがそれぞれの地域にふさわしい企画で実施している。(放送)</p>		
平成23	<p>◎ 東日本大震災に伴って発生した福島第一原子力発電所の原子力災害について、正しい放射線・放射能に対する知識を身に付けたいという地域住民の要望にこたえ、「放射線・放射能とは何だろうか?」と題して緊急公開講座を県内2か所で開催している。(群馬県民健康科学)</p> <p>◎ 公開講座について、十分な参加者が確保され、参加者の満足度も高い。(群馬県民健康科学)</p>		
	<p>○ 平成23年3月に教職員・学生の参加の下に、大学憲章を制定し学内外に公表している。(山梨県立)</p>		
	<p>◎ 地域との連携に基づく多様な公開講座を開催し、参加者が多く満足度も高い。(県立広島)</p> <p>◎ 県や周辺自治体との連携の下に、観光マネジメント人材育成セミナー、看護教員養成講習会等を開催するなど、積極的に地域貢献活動を推進している。(県立広島)</p> <p>◎ 平成19年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に「ケアマネジャー(介護支援専門員)を対象とした再就職支援及びスキルアップ講座」が採択され、在宅療養、在宅リハビリに対応するケアマネジャーの再就職支援とスキルアップ等、社会からの要請にこたえる教育貢献を行っている。(県立広島)</p>		
	<p>◎ S O A (Seitoku Open Academy) を中心として多種多様な大学開放事業を広汎に展開し、多くの参加者を得ている。(聖徳)</p> <p>◎ 研究所や音楽学部を有していることから、その教育研究実績を活かした多彩な社会貢献を行っている。(聖徳)</p>		